

【要保存版】

# 家庭学習の手引き

～家庭学習の習慣を身につけるために～



陽西地域学校園  
(陽西中・桜小・宝木小)

# 中学校 1・2・3年生

学習時間の目安 1日平均  
1年生 1時間半以上  
2年生 2時間以上  
3年生 2時間半以上

大人への入口、「思春期」といわれる時期です。心と体の成長がアンバランスになりがちで、ちょっとしたことで不安や悩みを抱えやすくなります。矛盾した言動の大人に反抗的になったり、仲間や友だちの影響を受け、他人から見た自分を意識して落ち込んだり、無理に合わせようとしたりします。

「スタンダードダイアリー」を見て予習をしたり、家庭学習の記録をつけましょう。その日の感想や気づいたことなども書きましょう。毎日担任の先生に提出します。

部活動に入っている、いないにかかわらず、家庭での時間を有効に使うことが大切です。部活動との両立は体力的に厳しいかもしれませんが、その場合は、時間をかけるのではなく、ポイントを絞った学習を心がけましょう。

**1・2年生＝計画的・継続的に学習をすすめよう！**

**3年生＝自分の目標を明確にし、計画的に学習をすすめよう！**

進学や就職などの進路を決定する、人生の節目の時期です。家の人や担任の先生などと、将来のことを話す機会が多くなります。

将来を見据えた具体的な目標を持つことで、意欲や集中力が増したりします。反面、進路に関する情報が不足していたり、思うように成績が伸びなかったりすると、不安や焦りが大きくなることもあります。

3年生は部活動引退後の時間の使い方が重要です。特に夏休みは、1・2年生の学習内容の確認・復習をしておくといでしょう。

## 学校では…

- ・5分前行動を心がけ、チャイムは自分の席で聞こう。
- ・授業は、「国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健・体育、技術・家庭、英語」の9教科となり、それぞれの教科担任の先生が指導します。(教科担任制)
- ・社会は「歴史・地理・公民」、理科は「1分野・2分野」に分かれており、それぞれの教科書を使って学習します。
- ・授業時間は50分です。
- ・数学や英語は少人数学習で行うこともあります。
- ・学習内容がどれくらい定着しているのか確認するために、定期テストを行います。(年4回)
- ・学力の向上につながるよう、定期テスト以外に、実力テストを計画的に行っていきます。
- ・クラスや学年の枠を越えて、いろいろな経験ができる場所として、部活動(希望者)があります。
- ・将来に向けた進路学習で、職業について学んだり、2年生では社会体験学習、3年生では高校等の一日体験学習があります。

## 家庭学習のポイント

- 家庭学習の習慣をつけるために、毎日決まった場所で、決まった時間に勉強に取り組むようにしましょう。
- 宿題が出ていなくても、学校の時間割に合わせて、予習や復習などの、「自主学習」に取り組みましょう。
- 家庭学習では、「何を、どのくらい、どのように」やるのか、また「いつまでに」やるのか決めましょう。
- 教科書を読む、ノートにまとめる・写す、何度も書く、練習する、覚えたかどうか問題を解く、丸付けをして間違えたものはできるまで繰り返す、などを心がけ、これらの学習に「自主学習ノート」を活用しましょう。
- 「自主学習ノート」は毎日提出できるようにしましょう。
- 日頃から、学習内容を理解できるようにしておくと、テスト勉強も楽になります。自分がわからないところや苦手なところをそのままにしておかず、その部分を中心に、わかるまで、できるまで努力しましょう。普段の積み重ねが大切です。

# 「勉強の仕方」アドバイス

## ポイント①

授業で学んだことや大切なことを、もう一度ノートに書きましょう。書くことで頭が整理されます。

## ポイント②

要点を整理し、図表にまとめたり大切なポイントを言葉で補ったりしましょう。知識が整理されます。

## ポイント③

何度も繰り返し、書いたり読んだりしましょう。繰り返していくことで覚えます。

## ポイント④

何も見ないでできるか確認しましょう。知識が自分のものになったかわかります。

## ～家庭学習のやり方・自主学習ノートの活用法～

★自主学習ノートは、できれば教科ごとにノートを分けると取り組みやすい。

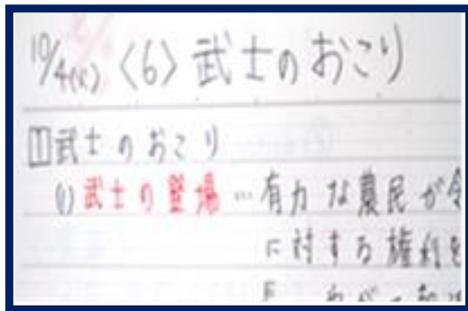
(\*は日常生活で心がけるとよいこと)

教科	家庭学習	自主学習ノートの取り組み
国語	<p><b>【読むこと(古典を含む)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を読み、あらすじを捉える。</li> <li>意味のわからない語や慣用句等について、辞書(場合によってはインターネットを活用しても良い)を使って調べる。</li> </ul> <p><b>【書くこと】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎日のスタンダードダイアリーで書くことに慣れる。</li> </ul> <p><b>【漢字】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>練習した後、自分なりにテストして、覚えたか確認する。</li> </ul> <p><b>【国語全般】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークブックや単元プリントで、授業の学習内容を復習する。</li> <li>授業のノートやワークシートをまとめなおす。</li> <li>読書(小説・評論文・新聞など幅広く)に親しみ、読む力や言葉の使い方・言い回しを習得する。</li> </ul>	<p>→あらすじをノートにまとめる。感想文を書く。</p> <p>→調べた語について、ノートに意味と一緒に書き留める。インターネットが使えるのであれば、参考画像などをプリントアウトして切って貼るのもよい。</p> <p>→①ノートに問題を解く(テストする)②丸付け③間違えた問題に印をつける④練習する⑤再度テスト</p> <p>→1度目はノートに解き、2度目はワークに書く方法や、ワークに書いた答えを付箋紙で隠しながらノートに問題を解く方法がある。</p> <p>→そっくりそのままノートに書き写すのでも十分だが、先生の話の思い出しながらメモを付け足してもよい。</p> <p>→読書の感想文を書く。気になるニュースについて考え、自分の意見を書き留めておく。</p>

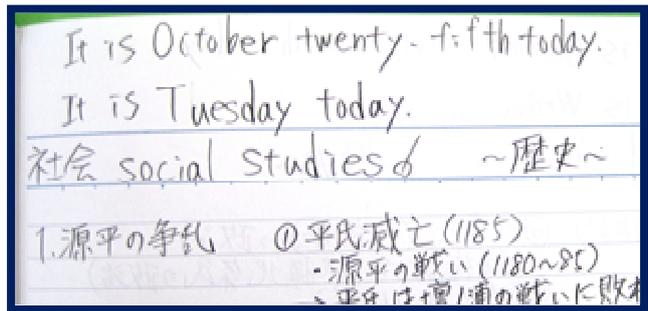
<p><b>社 会</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を読んで重要語句を調べる。また、その語句について説明できるようにする。さらに、</li> <li>・地: 地図帳などを利用して、場所、地名、特色を確認する。</li> <li>・歴: 年表でその時代の流れを確認する。</li> <li>・公: 資料をもとに考え方や見方を深める。</li> <li>* 新聞やニュースなどから、現在の政治や経済の動きをつかみましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートやプリントで授業の学習内容を確認する。</li> <li>・学習内容をノートにまとめる。さらに、</li> <li>・地: 略地図を書いて、その中に重要事項を書き入れる。</li> <li>・歴: 年表を作成したり、事件の原因・過程・結果をまとめたりする。</li> <li>・問題集等で理解できたかを確認する。</li> <li>・小テストや単元テストで間違えたところをやり直す。</li> </ul>
<p><b>数 学</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>授業でやった内容の復習を中心に取り組む。</u></li> <li>・授業で学習した内容を見直す。</li> <li>・学校で使用しているワークや問題集を自主的に進める。</li> <li>・小テストや単元末テスト、定期テストをやり直す。</li> <li>・教科書末にある補充問題に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学習した問題をもう一度ノートにやり、完全にできるようにする。</li> <li>・授業で学習した内容を、ワークや問題集を使って復習をする。</li> <li>・小手テストや単元テスト、定期テストの間違った問題を解きなおす。</li> <li>・教科書末にある補充の問題をノートにやる。</li> </ul> <p>※<u>全て、途中の計算や考え方をきちんと書き、間違った原因などがわかるようにしておく。</u></p>
<p><b>理 科</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書やノートを見て、学習内容を確認する。</li> <li>・ワークブックを何度も行う。</li> <li>・授業で使用したプリントをもう一度解く。</li> <li>* テレビの科学番組を視聴したり、身の周りの自然現象に関心を持ち、疑問に思ったことを調べたりするのもよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のノートを書き写す(図も必ず)。</li> <li>・授業で行った実験や観察の方法や操作上の注意点、結果、考察などを図(絵)と言葉でまとめる。</li> <li>・ワークブックの問題を行う。</li> </ul>
<p><b>英 語</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習を中心に、教科書の音読練習や本文を書く練習をする。</li> <li>・ワークブックを進める。</li> <li>・授業で使用したプリントの復習をする。</li> <li>* ラジオで基礎英語を聞いたり、字幕で映画を観ながら英語を聞いたりしてみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎英語のノートは英語専用のノートを使用する。</li> <li>・練習ノートに本文を書く。その際は、授業で習ったものを中心に、予習より復習に力を入れる。</li> <li>・基本本文を書く練習をする。単語だけではなく、文を書く練習をすると効果的。</li> <li>・ワークなどの問題を練習ノートに解きなおす。丸付けを忘れずに。</li> </ul>

# 《自主学习ノートの書き方・やり方の例》

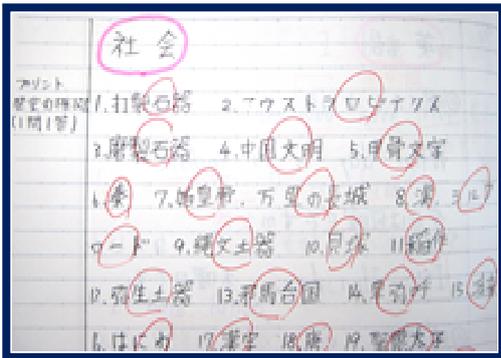
① 日付、教科(単元)を書く。



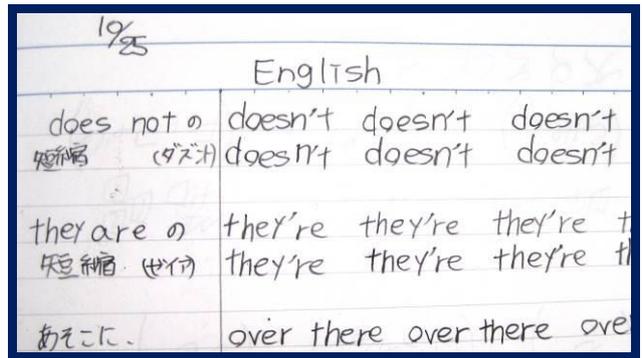
※日付や曜日を英語で書くのもよい。



② 問題を解いたらまるつけをする。

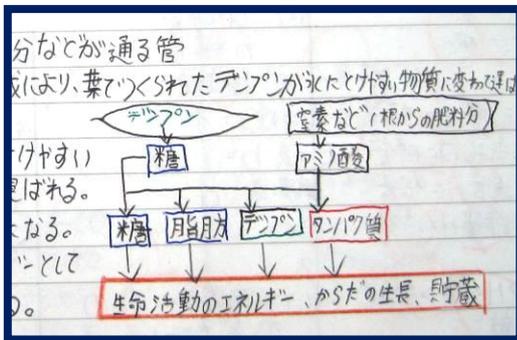


③ 繰り返し練習する。(英単語や英文は意味も書く。)

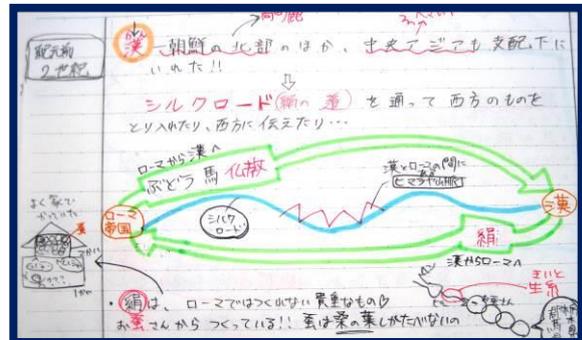


④ 図にしてわかりやすくまとめる。

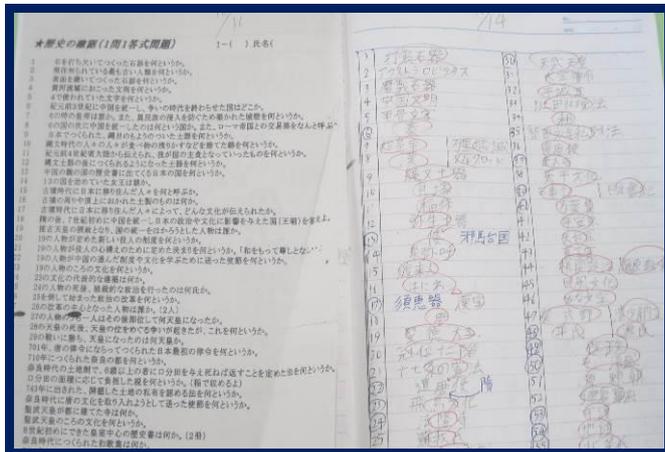
【理科の例】



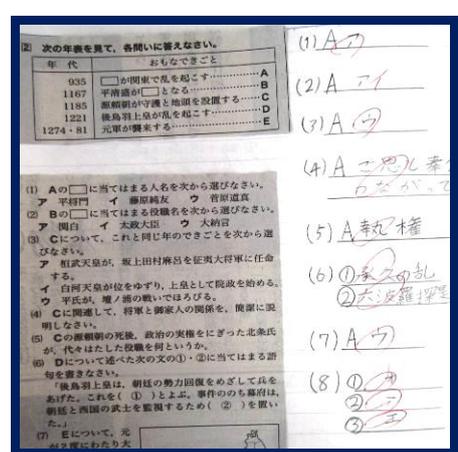
【社会・歴史の例】



⑤ 授業のプリントなどをやり直す。

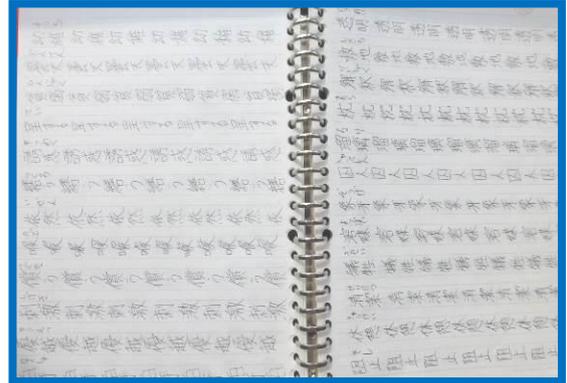
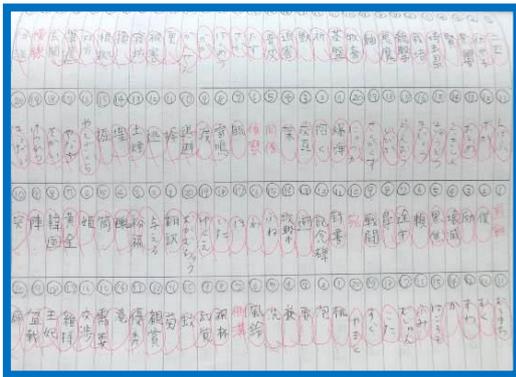


⑥ 新聞の学習資料をはって活用する。

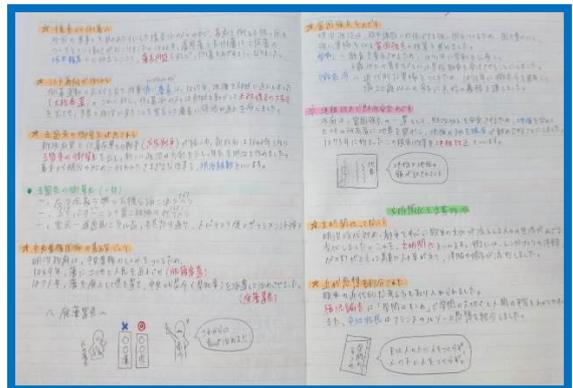
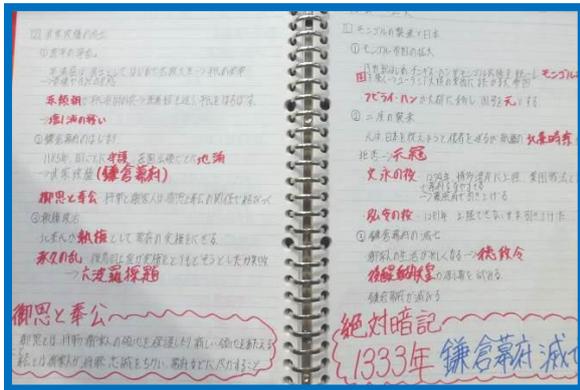


# 《各教科の取組み例》

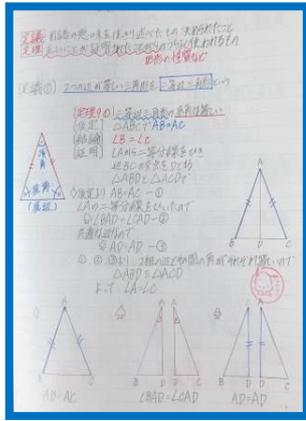
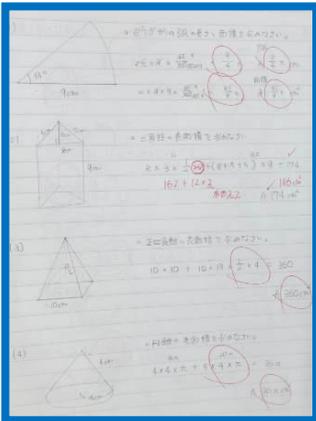
## 【国語】



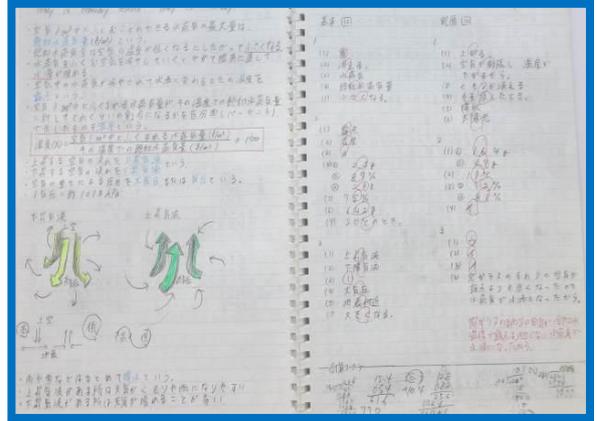
## 【社会】



## 【数学】



## 【理科】



## 【英語】

